

事業番号	11 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	土砂災害等から生命・財産を守るための対策事業		部局	建設部	課・室	砂防課
			実施期間	M31 ~	E-mail	sabo @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

近年、自然災害が激甚化・頻発化し、急峻な地形と脆弱な地質を有する本県においては、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨、令和3年8月大雨による災害等、毎年のように甚大な被害が発生している。
誰もが安全で安心して日常生活を送るため、「いのち」と「くらし」を守る土砂災害対策を進める必要がある。

2 事業目的

社会生活や経済活動を支える基礎的なインフラ（官公署、医療施設、学校、道路、鉄道等）を保全する施設を集中的に整備する「ハード対策」、平時から住民の防災意識を高め、避難の実効性向上に資する「ソフト対策」をあらゆる手段で強力に進めていく。

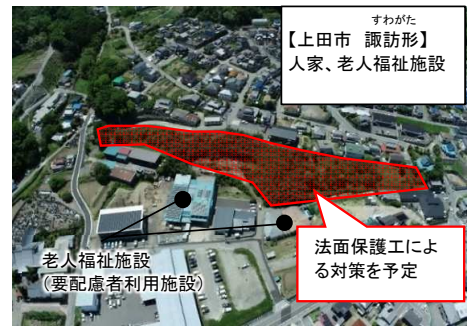
3 事業目的を達成するための取組

①「ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策」の強化・推進

- ・再度災害を防止するため、近年発生した災害箇所・崩落等の兆候がある箇所の早期対策を実施
- ・人命に直結する要配慮者利用施設や避難所における被害を防止・最小化するため、砂防施設を整備
- ・我が事として捉える防災意識向上の取組みとして、地域での防災教育を実施

②維持管理の推進

- ・これまでに整備した砂防施設の機能低下を防ぐため、修繕等の老朽化対策を実施



4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	土砂災害から保全される人家戸数	戸	55,200	55,500	↗	55,962	↗	55,900	達成	第3期長野県強靱化計画（策定中）において、R9までに58,000戸を保全することが目標であるため、R5は400戸の保全を目標とする。	
②	老朽化対策が必要な砂防施設の修繕・改築	施設	116	128	↗	140	↗	132	達成	長野県砂防中期計画（策定中）において、R9までに健全度A（要対策）と評価した砂防施設の老朽化対策を193施設完了することが目標であるため、R5は4施設の対策完了を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-2①	災害に強い県づくりの推進	土砂災害特別警戒区域内に立地する要配慮者利用施設の保全数	施設	2021 (R3)	50	2022 (R4)	55	2023 (R5)	57	2027 (R9)	71
1-2②	災害に強い県づくりの推進	土砂災害特別警戒区域内に立地する要配慮者利用施設の保全率	%	2021 (R3)	51	2022 (R4)	56	2023 (R5)	58	2027 (R9)	72

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	14,372,594	11,218,656	12,623,190	38,214,440	1,973,908	22,886,783	109.6
R4年度	17,387,112	11,372,440	11,598,494	40,358,046	2,248,947	25,457,837	108.6
R3年度	26,304,233	9,782,160	12,306,947	48,393,340	1,483,518	30,995,451	92.5

事業番号	11 06 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	土砂災害等から生命・財産を守るための対策事業	部局	建設部	課・室	砂防課	

7 主な取組実績と成果

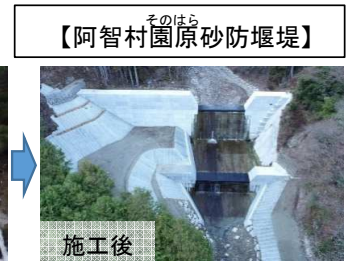
①「ハードとソフトが一体となった総合的な減災対策」の強化・推進

- ・再度災害を防止するため、近年発生した災害箇所・崩落等の兆候がある箇所の早期対策を実施。また、人命に直結する要配慮者利用施設や避難所における被害を防止・最小化するため、砂防施設を整備し、令和5年度までに55,962戸の保全が完了した。
- ・令和9年度までに58,000戸を保全完了に向け事業を推進していく。
- ・ソフト対策では、我が事として捉える防災意識向上の取組みとして、砂防ボランティアによる地域での防災教育を52回実施した。（前年度の実施回数：32回）



②維持管理の推進

- ・これまで整備した砂防施設の機能低下を防ぐため、修繕等の老朽化対策を実施し、令和5年度には12施設の保全が完了した。
- ・令和9年度までに193施設の保全完了に向け、事業を推進していく。



8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	土砂災害から保全される人家戸数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<ul style="list-style-type: none"> ・第3期長野県強靱化計画（R5～R9）において、R9までに58,000戸を保全することを目標としており、R5には目標としていた55,900戸の保全に対し、55,962戸の保全が完了した。 ・5か年加速化事業費（R2～R6）を活用した積極的な予算付けにより事業の進捗が図られ、目標値を達成した。 							
指標②	老朽化対策が必要な砂防施設の修繕・改築	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
<ul style="list-style-type: none"> ・長野県砂防中期計画（R5～R9）において、R9までに健全度A（要対策）と評価した砂防施設の老朽化対策を193施設完了することを目標としており、R5には目標としていた132施設に対し、140施設の対策が完了した。 ・5か年加速化事業費（R2～R6）を活用した積極的な予算付けにより事業の進捗が図られ、目標値を達成した。 							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・砂防施設等によるハード対策は、着実に進んでいるものの、未だに多くの整備必要箇所が存在し、対策には多大な事業費の確保が課題である。
- ・老朽化対策については、着実に進んでいるものの未だ多くの要対策箇所が存在する。
- ・我が事として捉える防災意識向上の取組みについて、防災講座により住民の防災知識や意識の向上は図れたものの、実際の避難行動につながる防災教育の実施が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・事業費の配分は、保全対象などを考慮した優先順位により要対策箇所を選定し、効率的な予算配分による事業完了を推進する。
- ・実際の避難行動につながる防災教育として、市町村等で実施する避難訓練等へ助言等の支援を実施する。

事業番号 11 06 01 細事業一覧（令和5年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	土砂災害等から生命・財産を守るための対策事業	部局	建設部	課・室	砂防課
-----	------------------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	砂防管理費、砂防等調査費、通常砂防費、火山砂防費、地すべり対策費、急傾斜地崩壊対策費他		30,995,451 千円	25,457,837 千円	22,886,783 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	防災教育事業	直接	土砂災害に関する豊富な知識を持つ砂防ボランティアを地域に派遣し、災害発生事例や地区防災マップの活用方法等についての講義を実施。 講義開催回数 計52回実施		
2	土砂災害基礎調査	直接	土砂災害警戒区域において、地形や土地利用状況の調査を実施。 基礎調査 計366箇所実施		
3	情報基盤整備	直接	長野県河川砂防情報ステーションや雨量観測局の改修等を実施。 改修費303,470千円		
4	通常砂防事業	直接	砂防堰堤工、溪流保全工等の設置及び測量、調査、設計、用地補償を実施。 整備箇所179箇所（千曲市仙石他）		
5	火山砂防事業	直接	砂防堰堤工、溪流保全工等の設置及び測量、調査、設計、用地補償を実施 整備箇所25箇所（山ノ内町落合他）		
6	地すべり対策事業	直接	地すべり対策工事、調査、設計、用地補償を実施。 整備箇所45箇所（長野市小松原他）		
7	急傾斜地崩壊対策事業	直接	斜面対策や崩壊土砂防止施設の施工、測量、調査、設計及び用地補償を実施。 整備箇所71箇所（長和町芹沢他）		
8	雪崩対策事業	直接	雪崩予防柵の施工、測量、設計及び用地補償を実施。 整備箇所3箇所（白馬村飯森他）		